

議会だより こさか



小坂町消防訓練大会（6月30日役場駐車場） 小型ポンプ操法の部では上川原班、ポンプ車操法の部では万谷班が第1位となりました。上川原班は7月7月開催の鹿角支部大会でも第1位となり、8月24日開催の秋田県消防操法訓練大会に出場します。



十和田湖ひめさす放流式（6月13日）

- | | |
|------------------|-----|
| 1. 6月定例議会の概要 | 2 |
| 2. 一般質問 | 3～6 |
| こんなことを聞きました（3議員） | |
| 3. 議員と語る会 | 7 |
| 4. みんなの広場 | 8 |



小坂町かぶきん

6月 定例議会

令和元年第2回小坂町議会定例会は、6月11日から18日までの8日間の会期で開催されました。

議会では、専決処分の承認のほか、令和元年度補正予算や、小坂町森林環境整備基金条例の制定などを審議しました。

なたね、そば乾燥調整施設 改修・設備設置事業費に3691万円を計上

- ・十和田湖和井内地区道の駅展示物設計業務 586万円
- ・教育留学推進事業(県外の児童生徒の留学受け入れ) 87万円
- ・くらしと健康の調査事業(高齢者の健康調査) 266万円

6月定例議会では、専決処分の承認や、森林整備を行うために森林環境譲与税を財源として基金を設置する条例の制定など議案11件、補正予算案3件をそれぞれ原案のとおり可決しました。

さらに、報告3件のほか、陳情2件を採択、4件を継続審査とし、意見書案2件、決定案1件を決定して閉会しました。(下面に議案一覧)

森林環境整備基金条例の制定についての質疑等の内容

問 森林所有者に補助金を出して森林整備をするのか。町が直接森林整備を行うのか。

答 手入れが行き届いていない放置森林の整備を所有者から町が受託して、意欲と能力のある林業経営者に再委託することになります。



問 私有林の台帳は整備されているのか。

答 林地台帳はあります。森林所有者は相続などで不明な場合もあるので、事業化の段階で所有者の特定をすることになります。

問 事務管理していく上で現職員で対応できるのか。

答 基金で職員も雇用できるので、アンケート調査をして台帳を整備していきたい。

報告		決定	その他		補正予算			条例の制定・改正					専決処分							区分		
議員派遣の件の報告		議員派遣の件	地方財政の充実・強化を求める意見書	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書	歯科診療所特別会計補正予算（第1号）	介護保険特別会計補正予算（第1号）	一般会計補正予算（第1号）	定める条例の一部を改正する条例制定	小坂町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	小坂町営住宅設置条例の一部を改正する条例制定	小坂町森林環境整備基金条例の制定	産業教育常任委員会付託	平成30年度中小企業従業員退職金等共済事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認	平成30年度歯科診療所特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	平成30年度介護保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	平成30年度一般会計補正予算（第6号）の専決処分の承認	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認	議案名	賛成 反対	採決 状況
報告	報告	報告	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	結果		
—	—	—	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	賛成	採決	
—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反対	状況	

町政を問う

3人の議員が7項目について質す

議長

1 1番 鹿兒島 巖 議員

1. 安心、安全なまちづくりとグリーンフィル
小坂(株)最終処分場拡張計画にかかわって



2 3番 本 田 佳 子 議員

1. 町の貸し出し物品について
2. 新設の塀について
3. マスコットキャラクターの活用状況について

3 10番 小笠原 憲 昭 議員

1. 明治百年通りの樹木管理等について
2. 児童、生徒の通学路について
3. 教育委員会所管事務の評価について



一般質問に答える町長

議会が議決または決定すべき事件について、当該事件が緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がない場合に、町長が議会に代わってこれを処分することを言います。

なお、専決処分した場合に、当該処分について、処分後初めて開かれる会議に報告して議会の承認を求めなければなりません。

ことばの解説①
専決処分とは

陳 情				区分
地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての陳情	産業教育常任委員会付託	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	※同様の陳情が1件あり 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	総務福祉常任委員会付託
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の陳情			総務福祉常任委員会付託
	産業教育常任委員会付託			総務福祉常任委員会付託
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の陳情			総務福祉常任委員会付託
11	11	—	—	賛成
0	0	—	—	反対
採決	採決	継続審査		結果

グリーンフィル小坂処分場の拡張計画 町として安心・安全の検証と環境アセスメントを

町長 やらなければならぬと思います



鹿兒島 巖 議員



点線の既存部分から矢印方向に拡張する計画

【問】グリーンフィル小坂(株)

最終処分場拡張計画は既存の場所に連結・上乗せで、容量270万㎡から410万㎡への拡張計画を、今後住民説明会や環境アセスメントを経て2026年度の供用開始を目指すとしています。

既存の処分場は3・11以降、福島原発から飛散した放射能で汚染された首都圏の一般廃棄物の焼却灰がグリーンフィルに搬入され、その後の対応について安全性に不安が残る現処分場への上乗せ・連結拡張であるという点に疑問があります。

①遮水シート等の、特に放射性による劣化などの安全性に問題はないか。

②既存処分場の容量270万㎡に対して貯水槽の容量は9000㎡ですが、処分場が410万㎡となることに対応できるのか。

③排水は拡張部分を分離すべ

きではないか。

④環境アセスメントは町域全体を対象に行うべきであり、最低でも町部では水質、臭気、空間線量の測定を含めて実施すべきと考えるがどうか。



町の安心・安全について質問する鹿兒島議員

【答】①については遮水シートの高分子材料は、浸出水や酸性雨、コンクリートからくるアルカリ水等に対しては比較的安全で、微生物に対しても科学的構造により侵されにくいと考えており、日本遮水工協会の耐水性評価結果によれば、50年から100年程度の耐候安定性が確認されています。

②については今回の最終処分場拡張計画に当たって、降

雨の影響を考慮して設計し、それに従って浸出水の貯留槽を持つ形で進める計画とのことであり、問題はないとのこととです。

③についてはグリーンフィル小坂(株)では、貯留槽の改修等により拡張後の現行容量である一日当たり450㎡の放流量を維持する形での運用を検討していることから、拡張部分を分離することは考えていないと伺っています。

④の環境アセスメントの対象や範囲については、グリーンフィル小坂では、すぐに工事の着手にかかるわけではなく、環境影響評価や事前協議を今後3年から4年ほどかけて実施する予定で、環境影響調査では、方法を決めて現地調査を行いその後評価をして、約3年かかる見込みです。また方法を定める段階で住民説明会を行う手順になっていますので、町では必要な時期にその都度協議して、県の指導を仰ぎながら環境アセスメントの結果が事業に反映され、環境の保全に十分に配慮して行われるよう注視していきます。



現在のグリーンフィル小坂最終処分場の状況

なお、グリーンフィル小坂及び秋田県が実施している放流水や空間放射線量の測定のほか、町でもグリーンフィル小坂(株)最終処分場の境界の二箇所空間放射線量の測定を毎月定期的に行い安全を確認しており、今後も継続していきます。

【問】これから策定する第六次総合計画の土台として環境状態の把握が必要と考えます。

町として町域全体を対象に環境アセスメントを行う必要があると考えますが。

【答】やらなければならぬと思っています。

貸出物品の合理的な活用を

町長 各自治会に周知します



本田 佳子 議員

一般質問 町政を問う

問 ある自治会で、側溝の蓋が重いため、10年近く泥上げできずに流れが悪くなっている箇所を、重い蓋でも持ち上げられる道具を町で持っているという。聞いて借用したところ、安全で簡単に上げることができ、しかも短時間で作業を終らせることができた。町として自治会に貸し出している物品(車両・資材等)は何かあるのか。



町内会での側溝清掃

答 自治会活動をするうえで、調達ができない物品については、町が所有している物品の貸し出しをしています。主なものとしては、トラック、側溝蓋上げ器具、スコップなどです。また、中央自治会連絡協議会所有の物品についても教育委員会で貸し出ししており、イベントテント、イベント用音響機器、草刈り機、移動式のあかちゃんの手押し車、一式やマスコットキャラクターかぶきんの貸し出しもしていますので、是非ご活用ください。

問 貸出物品の周知はどのようにしているか。

答 今までは個別の相談があった際に対応してきましたが、今後は各地区の自治会連絡協議会の会議等において周知を図ります

安全な塀の新設にも補助を

町長 当面は撤去のみの補助とします

問 危険なブロック塀の町の対応状況は。

答 点検の結果、町管理施設では「旧若葉町教員住宅塀」「レールパーク西側塀」、個人管理では、町道栄町1号線沿いの一か所が危険と判断しました。「旧若葉町教員住宅塀」は既に撤去済みですが、「レールパーク西側塀」は撤去できていません。個人管理の塀は、所有者に危険性を伝えましたが未撤去です。町では、広報や文書で町民や小中学生に注意喚起と撤去のお願いをしています。

問 新設の塀にも補助金を検討できないか。

答 平成31年4月1日に、倒壊により被害の軽減を図り、道路利用者の安全を確保する目的で「ブロック塀等撤去支援事業費補助金」を創設しました。危険ブロックの全部または一部の撤去工事を行う町民に対して、工事費の8割、20万円を上限に補助すること

で、早期の撤去を促しています。全国の自治体の例を見ますと、撤去と新設をセットにした補助金はありますが、町としては危険ブロックの存在を明らかにし、撤去を最優先に進めるために、当面は現状通り撤去のみの補助事業とします。



早期の撤去が待たれる危険な塀

かぶきんの活用状況は

問 マスコットキャラクターかぶきんが登場してから約1年が経過しました。当初は、グッズなども作りながら、「かぶきん」を小坂町のイメージとして浸透するようにしたいとお話していましたが、活用状況はどうか。

答 マスコットキャラクターかぶきんの活用は、着ぐるみを無料で貸し出すほか、デザイン集に掲載したものに限り

自由に使用できることにしています。使用に当たっては手続や制限等については町のホームページで周知を図っています。着ぐるみ使用は、平成30年の開始時点から今年5月末までの使用実績が外部の団体に9回、役場使用7回、計16回でした。デザインの使用については、10件の申請があり、すべてに許可をしました。町の封筒やお知らせ、学校のイベント、町民カレンダー等で使用しています。

問 議員や執行部もマスコットキャラクターかぶきんを身に付けるなど、自ら宣伝することも大事と考えますが、デザインポロシャツをクールビズとして着用することはできないか。

答 業者がデザインしたものを個人で購入して着用することとは可能ですが、町が直接ポロシャツなどを製作することは難しいです。



町長と一緒にPRするかぶきん

明治百年通りの今後の樹木管理は

町長 アカシア並木の雰囲気を守りながら
樹木更新や補強をします



小笠原憲昭 議員

一般質問 町政を問う

問 明治百年通りのアカシアの樹が老木化している状況ですが、今後どのように樹木等の管理をしていくのか。

答 アカシアの樹勢が盛んなのは20年ほどと言われていますが、ご指摘のとおり百年通りのアカシアは、それをはるかに超える樹齢を有しており、かなりの老木となっています。明治百年通りの最初の整備事業となった「町道停車場線マイロード事業」着手当

時は、うつそうとしたアカシア並木でしたが、平成3年9月の台風19号による甚大な倒木被害で多数のアカシアが失われました。そのため樹木の空間が多くなったことで、も

とも根が浅いこともあり、その後の台風でも倒木が相次ぎました。28年後の現在のアカシアの巨木は、当時根をバンドで補強した老木がわずかに残っている状況になっています。

アカシア並木の景観を後世に残すために、既存木の保護と更新を同時に行っています。



アカシア並木が彩る明治百年通り

す。既存木の保護は、樹高を詰めることで強風からの影響を弱め、倒木の防止と枝の落下から通行者を保護する目的で高木剪定を行っています。

樹木更新は、既存樹種のほかに紫や黄色の花が咲く海外の樹種を混ぜながら新規のアカシアを補植して、皆様から楽しんでいただける工夫を加えています。

今後もアカシア並木の雰囲気を守りながら、積極的な樹木更新や補強により、将来にわたりアカシア並木が明治百年通りの象徴であるように、維持管理に努めていきます。

児童・生徒の通学路の安心安全は守られているか

問 昨今痛ましい事故が報じられています。児童、生徒の通学路の安心安全は守られているか。

答 川崎市での殺傷事件をはじめ、小学生が巻き込まれ死傷する痛ましい事件、事故が連日報道されています。

町では、児童、生徒の安全確保のために、関係機関から

なる「小坂町通学路安全推進協議会」を設置して、年一回合同で交通安全と防犯の観点で調査・点検を行っています。

昨年度の「通学路合同点検」には、鹿角地域振興局建設部、能代河川国道事務所、鹿角警察署、小坂小中学校、役場建設課、町民課、教育委員会の担当者が参加し、通学路の現地調査を実施しました。

その結果、歩道工事の現場で登下校の時間帯に誘導員がいなかったことが分かり、早々に対応しました。生け垣やブロック塀が見えにくい場所や、空き家が多く暗い場所等、注意が必要な箇所も分かりました。児童・生徒の安全は最も重要なことと捉えており、道路管理者をはじめ関係機関と情報を共有し、できる限りの安全策を講じて、児童、生徒への注意喚起も併せて行っています。

昨今の事件、事故は横断歩道上であつたり、子どもたちの過失によらないケースも多いことから、自治会内の危険箇所の把握や見守り等、地域全体で取り組んでいく必要があります。

教育委員会所管の事務評価は



横断歩道でも細心の注意を

問 法律の改正により、教育委員会所管事務の評価を公表することが義務化されたが、その取り組みは。

答 教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行状況の点検評価を行い、報告書を作成して議会に提出し、公表することになっています。現状では、教育委員会事務事業の点検、評価はしておらず、法令を遵守していません。点検項目、評価の仕方、委員の選任等、今年度中に仕組みを作り、次年度からの評価体制を整えます。

第30回議員と語る会の概要

(意見や要望事項と回答)

令和元年6月25日(火)に小坂町交流センター・セパームにおいて、全町を対象に開催された議員と語る会についてお知らせします。

高校統合場所は 決定なのか

問 鹿角地域の3高校統合が花輪高校の校舎を活用することに決定した経緯について聞きたい。

議員 統合場所については、鹿角小坂地区高等学校統合に関する協議会でまとめた要望に反した決定だったので、納得できる説明を求めたいと考えています。

問 高校の統合場所は花輪高校に決定なのか。

議員 6月14日に県教育委員会が決定しました。

要望 決定ということであれば、今後について最良の方策を考えてほしい。

議員 小坂の高校生がどこの高校に通学しても遠距離で大変なので、町としての支援を考えていく必要があると思います。

町の婚活対策は

問 結婚適齢期の独身者が多いが、町としての対策は。

議員 以前、婚活イベントを実施したことはありますが、あまり集まらなかったと聞かれています。



17名の町民が参加し意見交換

農業の現状は

要望 以前うまくいかなかったからといって諦めるのではなく、継続して開催してほしい。

問 町の農業の現状、課題、解決策は。

議員 農地はあっても7割は委託しています。国の制度で高齢化や後継者がいないなどの理由で耕作できない農地を借り受け、担い手農家に貸し付ける農地中間管理機構による事業が進められています。また、国の減反政策でソバなどを作付けしています。が、所得を上げるには厳しい状況です。

認定農業者は32人いますが、高齢者が7割で、ここ20年間は新規就農者はいないので、このままでいくと十数年後には10名弱の農業者しかい

道路環境の整備を

なくなります。町で手厚く支援することが必要です。

要望 大湯から田子町を通じて八戸に行く国道104号は、小坂の関係者の利用も多いことから、町でも関係市町村と連携して整備を推進してほしい。

議員 道路整備は、町でも関係市町村で組織している整備促進期成同盟会に加盟して、国県に要望しています。

問 牛馬長根町道の拡幅工事の現状は。

議員 国の交付金の関係で、今年度は一部の区間の工事と聞いています。

問 町道等の草刈を町が直接行っているが、作業人員が不足しているせいなのか追いつかず、刈った草もそのままの状況です。業者に委託するなどして対応してほしい。

小坂鉄道レールパークへのリピーターを

問 小坂鉄道レールパーク入園者の手型や足型を飾ってお

くなどして、一度来た人がまた来たいような施策を考えてほしい。

議員 アイデアとして受けとめます。

観光大使の効果は

問 町に観光大使がいますが、効果はあるのか。また、大使への報酬は。

議員 観光大使は40名近くいますが、無報酬でお願いしています。効果を計ることは難しいと思いますが、以前、JRの関係者が観光大使であったときに、町を大きく宣伝してくれたことがあります。

要望 森林環境整備基金創設に伴い、森林環境整備に関する説明会を開催してほしい。

要望 議会の傍聴について、一階ロビーでも傍聴したいために、一般質問の資料を置いてほしい。



町への質問等については、後日回答をもらうことにしています。



豊島 学行さん
(休平 45歳)

町内で頑張っている皆さんを紹介するコーナー第4回は十和田湖休平のリブパイオニア代表の豊島学行さんです。青森市出身で、今年7月に小坂町に移住。元海上自衛隊に14年ほど勤務していました。退職後2年間で航海士の資格を取得。貨物船やクルーズ旅客船日本丸の航海士も務めたベテラン。自然あふれる十和田湖の案内役として、地域活性化の一端を担いたいと、昨年6月にリブパイオニアの会社を立ち上げました。十和田湖畔のレンタルボートでイギリス製のニューボートなど、新感覚の自然体験が満喫できるボートを取り入れ、新しい十和田湖の観光の集客を図り活躍しています。その豊島さんにインタビューしてみました。

町の良いところは何ですか

レールパーク単独ではなく、鉱山事務所や康楽館などと連携しています。施設に沿って続く歩道が整備されており、観光客の好みで楽しめる施設が選べ、ストーリー性があるところが素晴らしいと思います。また、駐車場が無料というのもありがたいです。

議会への要望はありますか

議員の皆さんには、もっと若い世代が中心になって活躍してほしい。

これからの小坂町がどうあってほしいですか。

他の地域から小坂町にスムーズに移住できるように、受け入れ間口を広げ、今後移住政策を継続してほしい。

これからの抱負は

観光の各事業が単体で頑張るのではなく、国立公園全体として協力し合い、合致した目標を持ち、志を一つに取り組んで行けるように、観光業界を盛り上げていきたい。

◆◆◆
お忙しい中、取材に応じていただきました。今後の更なる活躍をご期待しております。ありがとうございました。

●●●議会を傍聴しませんか?●●●

次の定例議会は**9月上旬の開会予定**です



熱心に傍聴する町民

お問い合わせ先
小坂町議会事務局
電話 0186-29-3914
FAX 0186-29-5481

- 傍聴の手続きは簡単です。議場の入り口で、名前と連絡先を書きだけです。
- 団体で来られる場合は、事前にご連絡ください。
- なお、傍聴する人は次の事項を守らなければなりませんので、ご留意願います。
- 一、会議場内の言論に対し可否を表明しないこと。
 - 二、いかなる理由があっても議員席に入らないこと。
 - 三、騒いで議事を妨害しないこと。
 - 四、帽子、襟巻または外とうの類を着用しないこと。
 - 五、傘及び棒類を携帯しないこと。
 - 六、その他議場の秩序を乱す行為をしないこと。

編集後記

今年の夏も暑い日が続く、異常気象とも言える近年です。

6月には新潟、山形県沖地震が発生しましたし、災害は他人事ではありません。いつ、自分に降りかかるかわからない今日この頃です。

災害が起こった場合は、あわてずに火元を確認して外に出て、避難場所は普段から家族や近所と確認しておくことが大切です。

小坂町総合計画の将来像にある「人と町が輝く躍動する小坂」の実現に向けて、皆さん協力して頑張りましょう。

(小笠原正見)



議会広報委員会の様子